

介護ロボット等導入効果報告書

ユニット名

いちようユニット

<p>事業実施年度</p>	<p>2018 年度</p>
<p>状況報告日</p>	<p>2019 年 3 月 31 日</p>
<p>介護ロボット等名称</p> <p>使用場面</p> <p>目標の達成度と効果</p>	<p>メンタルコミットロボット・パロ(知能システム社製)</p> <p>①認知症高齢者の精神的不安の軽減</p> <p>②地域への派遣と発信</p> <p>①認知症高齢者の精神的不安の軽減</p> <p>➢ご利用者がパロに名前を付け、かわいがるなど、動物セラピー効果により、精神的な不安感が軽減している姿も見られました。使用時間が長すぎたり、スタッフが介入しない場面では、不安につながることもあるということがわかり、効果的な使用方法を理解することができました。</p> <p>②リクルート効果</p> <p>③情報発信による介護現場のイメージアップ</p> <p>➢第 25 回石薬師ふれ愛フェスティバル (2018. 11. 18)において、パロとのふれあいコーナーを設置しました。約 100 名の方々にかわいがっていただき、介護ロボットを活用した介護現場のイメージアップにつながることができました。</p> <p>また、渋谷区にオフィスを構えられているレバレッジ株式会社様が運営する情報サイト「きらっコノート」(2018. 7. 23)に、当ホームページグリーンホームだよりの記事『メンタルロボット「パロ」での取り組み』が掲載されました。</p>    

④その他の効果

➤三重県知事より、「みえ働きやすい介護職場取組宣言事業所」の証明を頂きました。ロボットや ICT (情報通信技術) の活用等により、「働き方を改善して、仕事と家庭の両立」を目指していきます。また、スタートセレモニーには、パロも参加し地域への発信につながりました。(当該取組の内容については、“みえ介護フェア 2018”のステージプログラムにおいて報告の機会を頂きました。)

④今後の課題

➤どのような認知症症状に対して、どのような使用方法や効果があるのかを模索し、活用方法や対象者の使用場面を明確にしていきたい。

その他、当法人の取り組み等については、

鈴鹿グリーンホーム HP : <https://suzuka-greenhome.jp/>

〈トップページ ▶ 「グリーンホームだより」からご覧ください〉